

食べたい!!



いいたて村の
村民食堂



メニューは一つ!

飯館村の日常食

一汁一菜膳 500円

漬物・みそ汁・おこわ二種 ※限定30食

いいたて村の 村民食堂 2025

村民と 福島大学 大黒ゼミ生が共同開催
行政政策学類

／飯館村役場隣り／

までいな家 (までいな暮らし普及センター)

飯館村伊丹沢字伊丹沢578番地1

6月27日(金)・8月22日(金)

10月31日(金)・11月28日(金)

12月19日(金)・1月23日(金)

2月27日(金)・3月13日(金)

長泥コミュニティセンター

飯館村長泥長泥82414

7月25日(金)・9月26日(金)

11〜15時

(ラストオーダー14時)

時間 開店日

主催 特定非営利活動法人もりの駅まごころ運営協議会 後援 飯館村

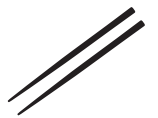
このチラシは福島県「令和7年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業」の補助金の交付を受けて作成しています

今年は2会場で開催!

までいな家& 長泥コミュニティセンター



いいたて村の 村民食堂



「いいたて村の村民食堂」は、村民と福島大学行政政策学類大黒ゼミ生が一緒になって、飯館の「食」の伝統を守りながら、新しいことにチャレンジする食堂です。

おこわとみそ汁の香り。漬物をかじったときの音。食べるとほっとする飯館の日常食を、「一汁一菜膳」(漬物、みそ汁、おこわ飯二種)として気軽に楽しめる食堂が村民食堂です。梅干しや味噌漬けなど、季節によって変わる「二菜」が食事の真ん中にある食の伝統を、村のばーちゃんたちと学生が一緒になって、これからも大切に守っていきます。

そして、私たちはさらなるチャレンジも。

村民食堂は、一汁一菜膳のほかにも、スピンオフとしてさまざまな食の提供を企画しています。

たとえば、飯館にやってくる海外の友人たちが故郷で食べてきた普段食。学生たちの出身地、全国各地のご当地食。飯館に移住してきた方や、飯館を応援したい人たちの自慢のメニューなど。飯館村への移住を考える方々が、お試しで開く一日限定食堂も予定しています。

詳しくはホームページまたはInstagramをご覧ください。

村の方も、村にやってくる方々にも、気軽に「飯館の食」を楽しんでいただける村民食堂を目指します。

通常開催

村で昔から作られてきた漬物におこわと季節の味噌汁がつく村民食堂の定番「一汁一菜膳」。
みんなが集まる家、「までいな家」で開催します。

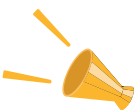
長泥開催

復興に向けて本格的に歩みを始めた飯館村長泥地区。長泥に足を運び、長泥の魅力と課題とともに肌で感じてほしい——その願いを込めて、村民食堂を長泥コミュニティセンターで開催します!
長泥ではいつもの村民食堂メニューをバイキングでお楽しみください。
自転車や徒歩、バイク等、自動車以外の方法で会場にお越しの方には、お振る舞い(無料)です!

スピンオフ開催

さまざまな「食」の提供にチャレンジするスピンオフ企画。飯館村にゆかりのある方々と学生、村民がコラボした「食」をご提供します。今年はどうな「食」が村に登場するか、お楽しみに…

募集



「食堂を使ってお試しでお店を開いてみたい!」「海外の食を紹介したい!」という方など、食で飯館を応援したい方を募集しています!

詳細はお問い合わせください。

お問合せ

特定非営利活動法人もりの駅まごころ運営協議会 村民食堂担当事務局

メール: magokoroitae@gmail.com

ホームページ: <https://magokoroitae.org/>

予約はこちら

福島大学行政制作学類 大黒ゼミ

Instagram: @daikoku2025

Web ラジオ: むらラジオ飯館村 (ムラムラ)→

